# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年1月29日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103730		
法 人 名	有限会社 友星メディカル		
事業所名	グループホーム 笹貫の家		
所 在 地	鹿児島県鹿児島市小松原一丁目1番2号 (電 話)099-268-2627		
自己評価作成日	令和4年12月28日		

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	--

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ケ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年1月19日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市南部の町中でホーム裏手を鹿児島市電が往来して「ゴトン、ゴトン。」と市電の走る音が 心地よく聞こえる地域にあるグループホームです。最寄の市電駅とバス停には徒歩3分圏内、市電 を1駅乗り継げばIR駅もある公共交通機関に便利な立地で、近隣には買い物できるお店や飲食店、銀 行や郵便局もある地域資源に恵まれた環境にあるグループホームです。昨今のコロナ禍の影響があ りますが、町内会の活動にも積極的に参加させていただき、夏祭りや町内会に属する他法人の高齢 者施設と町内会との三者協働での交流会イベントへの参加や町内会清掃活動など、町内会をはじ め、地域の方々とも良き交流を深め続けさせていただき18年が経過しました。『あなたが今できる ことを大切に』の理念に沿って、利用者の皆様が日々の暮らしの中でできることを見守り、お一人 ┃おひとりの気持ちに寄り添える暮らしの支援を心がけています。健康管理については、個々の利用 様のかかりつけ医への受診支援をし、訪問看護ステーションとの医療連携にて定期的な健康管理を 行っていて、お口の健康については協力歯科医院の受診と口腔ケアの助言指導をいただいており、 それぞれの利用者様が今の健康を維持できる暮らしの支援に取り組んでいます。当グループホーム では利用者様が楽しめて喜んでいただけるような色々なイベントを実施していて、昨今のコロナ禍 で外出は思うようにできない状況ですが、季節ごとの花畑見学を個別ずつで外出支援したり、コロ ナ禍だからこそできるホーム内でのイベントを開催して、毎月製作している『笹貫だより』にイベ ント時の様子を掲載して、ご家族等にホームでの暮らしの状況をお伝えする目的でお送りして喜ん でいただいています。コロナ禍にあっても『いつまでも笑顔の絶えないグループホーム』との理念 の通りに、従事する職員が、利用者様お一人おひとりの気持ちや暮らしに寄り添い、利用者様や家 族様の気持ちに想いを馳せながら、いつまでも笑顔の絶えないグループホームとなれるよう、職員 一同取り組んでいます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は市電駅やバス停も近距離に有り、公園やスーパーにも近く、 日々の散歩や買物支援にも便利な環境である。
- ・訪問看護ステーションとの医療連携により週1回の健康管理が行われ適切な医療を受けられるよう支援している。
- ・コロナ禍であるが感染症対策を行い小人数でのドライブで桜・ネモフィラ・菜の花・コスモスの見物や散策など外出支援をしたり、ホーム内の行事も正月には交流イベントでヒントを得て管理者自作の獅子舞で踊りを披露したりクリスマスには職員がサンタクロースとトナカイに扮して登場すると大きな拍手と笑顔があり利用者にプレゼントを配って楽しみを持てる支援をしている。
- ・職員は利用者の持てる力を維持しながら待つ姿勢で関わり、利用者から の声かけで元気をもらうなど関係性が良好である。
- ・管理者は日頃から職員の意見や提案を言いやすいよう言葉かけを工夫したり、相談にも対応し、代表者に報告しながら、働きやすい環境作りをしている。コロナ感染症の後遺症に苦しむ職員について代表者に相談し諸制度を活用することで安心して療養できる環境を整えている。

自	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項  目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
	Ι. ϶	理念に基づく運営			
		○理念の共有と実践	毎日の朝礼後に勤務者全員で理 念の唱和を行い、意識づけをし	理念は事務所やホールに掲示し 理念はパンフレットにも掲載し ている。毎日の朝礼時勤務者全	
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた 事業所理念をつくり,管理者と職員はそ の理念を共有して実践につなげている	て日々のケアの実践につなげられるよう取り組んでいる。また 定期的に理念を振り返る機会を 設け、実践の確認や理念の見直 しなど協議し全員で理念の共有 に取り組んでいる。	員で理念の唱和をして、理念に 基づいた各自の目標を設定しケ ア実践に取り組んでいる。毎月 ミーティングでケア実践を振り 返り年末に全員で理念に基づく ケア実践だったか振り返り次に 繋げている。	
		○事業所と地域とのつきあい	地域の町内会に加入して、月1回の 夜間防犯パトロールに一員として参 加活動したり、地域まち美化委員に	町内会に加入しコロナ禍前は地 域行事に利用者と共に参加交流	
2	2	利用者が地域とつながりながら暮らし 続けられるよう,事業所自体が地域の一 員として日常的に交流している	も登録していただき、地域の方々と	できていたが、現在は地域の夜間防犯パトロールや地域まち美化委員として地域住民と協働で定期的に清掃活動に参加交流し意見を聞く機会となっている。	
		○事業所の力を生かした地域貢献	運営推進会議を基本に当事業所の運営やケアの実践についての取り組みを発信したり、毎月のホーム便りを		
3		事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	送付して町内会や地域包括支援センター、民生委員など地域の方々に向けて認知症の人の理解や支援方法等を生かしている。		

自	外	項 目 話	自己評価	外部評価	
己評価	外部評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービス の実際、評価への取り組み状況等につい て報告や話し合いを行い、そこでの意見 をサービス向上に活かしている	昨今のコロナ禍で事業所内での運営 推進会議は行うことができていない が、運営状況等の資料を作成して、 町内会会会長様や民生委員様、地域 包括支援センター、家族様に送付し て情報共有を図り、電話でご意見を いただきサービス向上に活かせるよ う取り組んでいる。	コロナ感染予防の為、会議は書面で開催している。2ヶ月毎に入居者状況・ヒヤリハット・行事や地域の取り組み状況・事業所運営状況を資料作成し委員料である。委員から避難訓練の取り組み等の意見を頂きサービス向上に活かしている。	
5		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り 組みを積極的に伝えながら、協力関係を 築くように取り組んでいる。		市担当者とは書類申請で出向いたり電話で相談し助言を貰ったりしている。生活保護担当者とは生活状況の相談や情報共有を図る等、日頃から連携を図り協力関係を構築している。市主催の研修にズームで参加している。	
6		着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁	拘束の禁止対象となる具体的な行為	為や身体拘束が及ぼす影響について学び、毎月ミーティングでスピーチロックや虐待についても学び身体拘束をしないケアに努めている。日中の玄関施錠はせず、外出されそうな場合は対	

自	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項  目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
7		や事業所内での虐待が見過ごされること	高齢者虐待の防止について、定期的な内部研修を通して、管理者や職員は学ぶ機会を設けている。月々の職員ミーティングで虐待につながるような事例の有無を協議して、虐待の防止に向けての意識付けを全員で行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、 それらを活用できるよう支援している。	管理者や職員は、定期的な内部 研修を通して、権利擁護に関す る制度について学ぶ機会を設け ている。		
9		<ul><li>○契約に関する説明と納得</li><li>契約の締結、解約又は改定等の際は、</li><li>利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</li></ul>	契約時には懇切丁寧を心がけて、十分な説明を行い、ご理解いただけるように努めている。また利用者様や家族様の不安なこと、困りごと、疑問点を伺い明確な回答をして納得いただけるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員並びに外部者へ表せる機会を設 け、それらを運営に反映させている。	利用者様やご家族様と日頃をいいている。 利用者様やご家族様と日頃軽に日頃軽に関係を関係を関係していたがは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	利用者からは日頃の関わりの中で意見や要望を聞き、不の現まで利用者の関わりのかいで、一切では一切では一切では一切では一切ででは一切ででは一切では一切ででは一切で	

自	外	項目	自己評価	外部	評価
己評価	外部評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
11	7	<ul><li>○運営に関する職員意見の反映</li><li>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</li></ul>	運営に関する職員からの意見については、月々の職員ミーティングの機会を主にして、職員を見を聞けるように努め、その意見を管理者が代表者に伝えられるようにしいる。日頃からの反映に努めている。日頃を日まり良いは管理者に相談や意見を伝えらとのよう良いコミュニケッといる。	で、勤務者個々人へ声かけする等、意見や提案・相談が言える環境作りに努めている。個人面談で目標の振り返りや相談にも応じている。代表者に相談し有	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心を 持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている。	代表者は、管理者から実績や勤務状況等の報告を受けて、職員が向上心を持ち働けるように研修企画やその案内を管理者経由で発信し、職場環境や条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりの ケアの実際と力量を把握し、法人内外の 研修を受ける機会の確保や、働きながら トレーニングしていくことを進めている	管理者や職員一人ひとりの状況を代表者は把握しており、コロナ禍で開催が難しい状況もあるが、法人内外で行われる研修を受ける機会を確保して、それぞれに合う研修参加を促し、それぞれのスキルアップにつながるよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内会の防犯パトロールに他法 人の職員様も参加され、その際 に情報交換等を行い近況を話し 合えている。また毎月の法人内 の管理者会議で、管理者同士の 交流を図れたり、法人内の研修 で他事業所の職員同士の交流が 図れるようにしている。		

自	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
	Ⅱ.安	心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本 人が困っていること、不安なこと、要望 等に耳を傾けながら、本人の安心を確保 するための関係づくりに努めている	サービスを開始する段階で、本 人様の現時点の事や先々につい ての困りごと、不安や要望など にしっかり耳を傾けて、安心し たサービス利用ができるための 関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家 族等が困っていること、不安なこと、要 望等に耳を傾けながら、関係づくりに努 めている	サービスを開始する段階で、本人様と 同様に家族様等の現時点の事や先々に ついての困りごと、不安や要望などに しっかり耳を傾けて、安心したサービ ス利用ができるための関係づくりに努 めている。またサービス利用の上で、 事業所としてできること、できないこ とを明確にお伝えし理解いただけるよ うご協力いただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの開始段階で、その時にまず必要な支援は何か、困りごとは何かを伺い見極めて、居心地よく過ごしていただけるように、他のサービスも含めて柔軟に対応できるよう努めている。		
18		<ul><li>○本人と共に過ごし支え合う関係</li><li>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</li></ul>	職員一人ひとりは、利用者様に対してパーソンセンタードケアの視点に立って、本人様の気持ちに寄り添いながら、暮らしを共にする者同士の関係を築けるようにしている。		

自	外	, L	自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場 に置かず、本人と家族の絆を大切にしな がら、共に本人を支えていく関係を築い ている	職員は本人様と家族様の関係性 を理解して、お互いの関係性と 絆を大切に見守りながら、本人 様と共に支援できるように、日 頃から心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染み の人や場所との関係が途切れないよう、 支援に努めている	昨今のコロナ禍の影響で、馴染みある人との面会や外出等を別限している状況だが、可能な関りの範囲で、電話をかけたり手紙を送ったりと、本人様にとって大切な関係性を職員は理解し、途切れないように勤めている。	コロナ禍で窓越し面会の為に ホームの電話子機をしてる。 話や交流を大切にしぎすいる。 手紙ででですりでですりでです。 手紙ででですりででででででででででででででででででででででででででででででででで	
21		りが孤立せずに利用者同士が関わり合	それぞれの利用者様のことを理解把握して、相互の関係性に配慮しながら気持ちよく過ごせて、支えあえるような環境を整えての支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、 これまでの関係性を大切にしながら、必 要に応じて本人・家族の経過をフォロー し、相談や支援に努めている	退去された後も、利用者のご家族様からお電話をいただいたり、またホームまで足を運んでいただいたりし、相互の近況を会話して、必要に応じてその後の経過フォローや相談・支援できるよう努めている。		

自	外		自己評価	外部	評価
三評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
I	Ι	その人らしい暮らしを続けるためのケアマ	ネジメント		
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、 意向の把握に努めている。困難な場合 は、本人本位に検討している。	毎日の過ごし方、暮らし方をど うされたいかを本人様に伺いな がら、その思いに応えられるよ う努めている。困難な時はでき るだけ本人本位に検討できるよ うに取り組んでいる。	日々の生活の中で思いを聞いている。特に食事や入浴時・お茶の時間・就寝前の居室で思いや意向を話されることが多い。困難な場合は表情や仕草・嫌がる反応等から入居時の情報を基に職員間で意見交換し、本人本位に検討しケアに関わっている。	
24			サービスを利用する段階で、本人様 やご家族様から今までの生活歴や生 活環境、これまでの暮らし方など教 えていただき、経過等の把握ができ るように努めている。		
25		態、有する力等の現状の把握に努めてい	日々の申し送りやお一人おひとりの 個別記録を確認したり、定期的なカ ンファレンスにて、それぞれの利用 者様の過ごし方や心身状態などの現 状の把握に努めている。		
26	10		本人様やご家族様のニーズを基 に話し合い、いただいた要望等 を介護計画に反映できるよグは 作成している。モニタリンスに 定期的なケアカンファレンスに て、職員全員で話し合い振計 りをして、その後の介護計に りをできるよう取り組んでい る。	本人・家族の思いや要望、主治 医や訪問看護師、職員の介護見を もとにアセスメントしの介護見で 画作成し担当者会議で見て し、利用者の身体状況できる。 別から持ての力が成している。 がよりがは1ヶ月毎に行いる にアリングは1ヶ月毎に行いる に見するは1ヶ月で見直し、3~6ヶ 月、または状況変化時に見画 し、現状に即した介護計画を作成している。	

自	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項  目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各利用者様ずつの個別ケース記録や、食事/水分摂取・排泄記録/バイタルチェック表を作成し、個々の利用者様の状態把握に努めている。状態変化が著しい場合は、24時間記録ができるよう取り組んでおり、その後の介護計画の見直しなどに活かせるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに 捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様やご家族様の変化する状況やニーズやお気持ちには、その時々の状況に応じて柔軟に対応できるように努め、必要に応じた対応ができるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	昨今のコロナ禍で町内会行事等が開催されず参加できないが、町内会に加入して、地域の資源を利用者の皆様方に活かせることがないかを検討して、暮らしが楽しめることができるよう支援している。例年は夏祭りや高齢者福祉の他法人事業所と共同開催をする交流会に参加していただいている。		
30	11	<ul><li>○かかりつけ医の受診支援</li><li>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</li></ul>	サービス利用開始前に、本人様 やご家族様にかかりつけ医についてを伺い、希望されるかかりつけ医を受診できるようにしている。希望の無い場合は、事業所の協力病院やその利用者様の病歴に応じたかかりつけ医をご提案して適切な医療が受けられるよう支援している。	本人や家族の希望する入所前からの医療機関への定期受診される。訪問看護の志問看護の志問看護の志問看護で健康管理している。診問者医の諸問務をもある。状態変化時に応じる。診支援している。他科受けられるよう支援している。	

自	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとら えた情報や気づきを、職場内の看護職員 や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の 利用者が適切な受診や看護を受けられる ように支援している	医療連携を図っている訪問看護ステーションの看護師に、個々の利用者様の心身状態を相談し、適宜助言等頂けるようにして、適切な受診ができるように連携して協働できるよう取り組んでいる。		
32		でるように、よに、くさるだけ干別に返  陰できろように   病院関係者との情報な	利用者様が入院した場合、早期 の退院につながるように、医療 機関側の相談員様にこまめに連 絡を図り、現状や退院の目途等 の情報交換を行い、また医療機 関の関係者様との良好な関係づ くりができるよう取り組んでい る。		
33	12	単反にした場合、ドネラののケカにラいて、早い段階から本人や家族等と話し 合いを行い 事業所でできることを十分	入居契約時に、重度化や終末期 に関する当事業の時点でののご説明し、そので入居のでので入る。 方を確認している。 前のので入りにで入りまたので、 前のにので、 はでいる。 はでいる。 はでいると をでいる。 はでいる はでいる はでいる はでいる がある はでいる はでいる はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと	入居契約時、マニュアルに基づいて説明し意向を確認し同意書を貰っている。重度化した場合は主治医から家族に説明し、責任者や管理者も同席し、意向を確認しながら方針を共有し支援している。	
34		利用者の急変や事政発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓	昨今のコロナ禍で、定期的な避難訓練 に消防署職員の立会ができていない が、例年は避難訓練時に応急処置や初 期対応の訓練を消防署職員より受けて いる。医療連携する訪問看護ステー ション看護師にも応急処置等を教えて いただき実践できるよう努めている。		

	自	外	· 項 目 · · ·	自己評価	外部評価	
言言	己評価	外部評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
	35		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を全職 員が身につけるとともに、地域との協力 体制を築いている	を定期的に実施し、昼夜を問わまで定期的に実施し、昼夜を問わまである。昼夜を問わまずに利用員が身につけられる。運営推進をり組んでいる。運営推進時にの防犯パトロール時に必ずに事業所で協力をに事業がでいる。 地域の方々に事業のご協力で協力を 地域に避難援助等のご協力で協力で 害時に避難をしていますを 大体制が構築できるよう努めて	防災訓練を年3回昼夜間想定で運動 を電話をで選難誘導訓練を年3回昼次災訓練を年3回昼次災訓練を 1回は火災訓練練、で 1回は火災訓練練、で 1回は火災訓練練、 1回は火災訓練練、 1回は火災訓練練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災導訓練 1回は火災 1回は火災 1回は火災 1回は火災 1回は火災 1回は火災 1回は火災 1回は火災 1回は火災 1回は火災 1回は 1回は 1のの 1のの 1のの 1のの 1のの 1のの 1のの 1の	

自	外		自己評価	外部	評価
三評価	外部評価	項  目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
I	<b>V</b>	その人らしい暮らしを続けるための日々の	)支援		
36	14	<ul><li>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</li><li>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</li></ul>	利用者様に対しての言葉かけや 関わり方について、利用者様の 立場になって、自分であればど のように言葉をかけてほしいかを が、どう関わってほしいかを えながらの対応を職員全員言言 がけ、職員ミーティンで話し がけや関わりについてを話し えるように取り組んでいる。	マニーティングでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	
37		日常生活の中で本人が思いや希望を表	利用者様の日常生活の中で、様々な場面で自己決定できる機会を作って働きかけている。例えば食べたい物や買い物外出時に買いたい物の決定、出かけたい場所などの自己決定ができる支援を心がけている。		
38		<ul><li>○日々のその人らしい暮らし</li><li>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</li></ul>	個々の利用者様がその人らしい暮らしができるよう、お一人おひとりのペースを把握して大切にしながら、その方々の希望に添えるような暮らしの支援ができるよう努めている。		
39		<ul><li>○身だしなみやおしゃれの支援</li><li>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</li></ul>	その日着たい衣類はなるべく本人様に選んでいただいており、整容時はご自分で髪型を整えていただけるよう見守り、定期的な訪問カットでのヘアカットを行ったりと身だしなみやおしゃれができる支援をしている。		

自	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○食事を楽しむことのできる支援	できる方には台所で一緒に調理をしたり、後片付けや食器洗い	栄養士の職員が利用者の好みを 取り入れ献立作成し、行事食の おせちやお雑煮・ぜんざい等を 職員の手作りで提供している。 食形態は口腔状態や嚥下状態に	
40			をしていただいている。昨今の	応じて普通食からペースト状で 提供しサラダのキャベツなうま 通しで楽しく食べれるようはち している。誕生のお祝い会はち らし寿司や手作りケーキであり を工夫したり、敬老の日はおう と当で楽しめるようにしている。 後片付けはそれぞれ出来ること を一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	栄養士資格を持っている職員が 食事献立を作成し、季節に合わ せた食材を使った献立作りに列 め食事を提供している。お一人 ずつの食事や水分摂取量を記録 して把握し、その人に合った食 器類や湯呑等の選定に配慮し、 食習慣に合わせた支援ができる よう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	個々の利用者様の口腔状態を把握し、協力歯科医院からの助言を頂きながら、その人に合った口腔ケアを行っており、必要時は歯科受診支援を行い、お口の健康や清潔状態を保持できるような支援を心がけている。		

自	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項  目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
43	16	排泄の矢敗やおむつの使用を減らし、  一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣	できるだけトイレでスッキリできるようにトイレ誘導を促した排泄ケアに努めている。お一人ずつの排泄習慣や排泄状況の記録を作成し、排泄失敗やおむつ類の使用頻度を減らせられるよう全職員で取り組んでいる。	排泄チェック表で排泄パターン や特徴のある仕草のサインを把 握し、羞恥心に配慮した声掛け で日中はトイレ誘導し排泄をしている。ポータブルトイイスの排泄や車椅子自走でしている。 排泄等を見守り支援している。 排泄用品は個別に対応していました。 排泄用品は明パンツから、 へ改善された事例がある。	
44			便秘が及ぼす心身への影響や、便秘 の原因を職員は理解して、食事内容 の工夫や乳製品をとっていただける よう努め、生活上での定期的な運動 をしていただくことで、薬の使用頻 度を減らして、便秘予防ができるよ うに取り組んでいる。		
45	17		入浴支援は個々の利用者様の状況や希望に合わせて、入浴が楽しめるよう入浴剤を使用したりその人の好みの湯温で入浴していただいている。入浴時間は職員の都合に偏りがあるが、なるべく本人様が満足できる入浴の支援となれるよう努めている。	基本週2~3回の午前中支援で、 希望に応じて入浴剤やみかんの 皮を使用したり、順番や湯温支 個別に対応し満足できる入浴る場 援をしている。入浴を嫌がるる 接をは声掛けの工夫・相性の良い 職員と交代・時間をずらいる 工夫をしているが無理強いせず にないる。 といるが無理強いせて にたるにじた入浴支援に努めている。	
46		況に応じて、休息したり、安心して気持	それぞれの利用者様の休息や睡眠状況 の生活習慣を理解把握して、気持ちよ く休められるように支援している。就 寝前はホットミルクやホットココアを 提供して安眠につながるような工夫支 援をしている。昼食後に短時間の昼寝 休息もとっていただき、気持ち良く眠 れるよう支援している。		

自	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項 目 G	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
47			処方される内服薬の使用目的や用法・用量について理解して、適切な服薬支援と状態変化の確認、情報共有が図れるようにしている。疑問点はかかりつけ医やかかりつけ薬局の薬剤師にその都度相談できるような関係性を作っている。		
48		ように、一人ひとりの生活暦や力を活か した役割、嗜好品、楽しみごと、気分転	それぞれの利用者様の生活ペースを 把握して、その方ができる家事等の 役割を担って取り組んでいただいた り、その日その日の好きなことや楽 しみ事の支援を行い、気分転換を図 れるよう取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、 戸外に出かけられるように支援に努めて いる。また、普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かけられるよう に支援している。	への外出はできていないが、近 隣のお店への外出や天候の落ち 着いた日の公園までの散歩など は、感染対策を行いながら支援 できるように努めている。本人 様及びご家族様には、コロナ禍	コロナ禍であるが、感染気 であるで、感染気 であるで、でででででいるでででででででででででででででででででででででででででで	
50		職員は、本人がお金を持つことの大切 さを理解しており、一人ひとりの希望や	お金を持つこと、使うことの大切さを職員は理解して、買い物を希望される方には、近隣のお店に一緒に出かけ、好きな物を購入していただいている。お金を自分で持ちたいと希望される方には、少額を持っていただき、お金を管理することが安のにっながっている。		

自	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51			コロナ禍の状況にて面会を控えていただいている分、利用者様と家族様の電話でのやり取りの機会が増えており、日常的な電話での交流していただけるよう支援している。		
52			利用者の皆様が過ごさせる共有整体が過ごせるなどにながられる空間では、快適に受性をなどにながられるではいれるでは、照配は、所ではないではないではないではないではないではないではないでは、異れるというないではは、ときないでは、ときないでは、とりは、とりないでは、とりは、とりは、とりは、とりは、とりは、とりは、とりは、とりは、とりは、とり	フロアは加湿器付きの空気清浄機を設置し、定期的に換気エの空気で調整して調整に過ごではからられる。 ア環ーのを調整しいる。 ア環ーのができる。 アポーの でいる。 アポーの でいる。 アポーの でいる。 アポーの はいる。 アポーの はいる。 アポーク でいる。 アル・ でいる。 アル・ でいる。	
53		づくり 共用空間の中で 独りになれたり 気	共有フロアでは、それぞれの利用者様に配慮しながら、利用者様同士が思い思いに過ごせるよう、関係性を考慮しながらの座席作りや居場所作りを提供し、ソファを設置してくつろげるスペースを確保したり、観賞用のメダカ水槽を置いて、癒しの場所作りなどの工夫をしている。		
54		家族と相談しながら、使い慣れたものや	ご入居準備の段階で、居室の持ち込み品やレイアウト品は、本人様にとって馴染みある物れた物、本人様が好まれたではできるだけ持ち込みいできるだけ持ち込み心できる人様にとって安心できて、おい地良く過ごせるお部屋作力となるよう、家族様に理解協いる。	居室入口には木製の表札があり、口には木製の表札がスト・洗面台・衣装ケース・設置し、衣装ケース・テレビ・ソファ・仏室・位牌・遺影・れんを増り、ない居室を持ち込み、の居室を持ち込み、の居室を持ちらしい居室を間がある等、自分にある。携帯ではある。 まら工夫している。 またし、居心地よくしなり、 は、居心地よくしないる。	

	外		自己評価	外部	評価
己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
55		づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」を「わかること」を乗れ	本人様が「わかること」「できること」が活かせるよう建物かること」が活かせるよう建物かることできるよう配慮で安心できるよう配慮を表して、トイレ前には「お風呂場」の一般を発して、お室前には「お風呂場」と多角的に見えるよう配慮工夫		

# Ⅴ アウトカム項目

	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	0	1 ほぼ全ての利用者の
56			2 利用者の2/3くらいの
30			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
		0	1 毎日ある
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)		2 数日に1回程度ある
101			3 たまにある
			4 ほとんどない
	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)		1 ほぼ全ての利用者が
20		0	2 利用者の2/3くらいが
100			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
		0	1 ほぼ全ての利用者が
	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目:36,37)		2 利用者の2/3くらいが
1 29			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1 ほぼ全ての利用者が
60			2 利用者の2/3くらいが
00		0	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
			1 ほぼ全ての利用者が
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	0	2 利用者の2/3くらいが
01	(参考項目:30, 31)		3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目:28)		1 ほぼ全ての利用者が
		0	2 利用者の2/3くらいが
02			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
			1 ほぼ全ての家族と
	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく 聴いており、信頼関係ができている。	0	2 家族の2/3くらいと
	(参考項目:9,10,19)		3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
C.4	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:9,10,19)		2 数日に 1 回程度ある
04		0	3 たまに
			4 ほとんどない
			1 大いに増えている
GE	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡が	0	2 少しずつ増えている
00	りや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4) -		3 あまり増えていない
			4 全くいない
	職員は,活き活きと働けている。 (参考項目:11,12)		1 ほぼ全ての職員が
GG		0	2 職員の2/3くらいが
00			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
	職員から見て,利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 -		1 ほぼ全ての利用者が
67		$\circ$	2 利用者の2/3くらいが
01			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
			1 ほぼ全ての家族等が
68	職員から見て,利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると 思う。	0	2 家族等の2/3くらいが
	思う。		3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない